



第92号 令和2年12月15日

編集発行

社会福祉法人 清峰会 さざなみ学園

☎961-8061 福島県西白河郡西郷村大字
小田倉字大清水389番地5

TEL (0248) 25-1881(代)

FAX (0248) 25-4362

<http://care-net.biz/07/sazanamigakuen/>

令和2年7月19日開催

さざなみ学園祭

学園祭会場

さざなみ学園祭は、今年から夏に行われることとなりました。
 今年は御利用者の皆様と職員のための参加開催となり、スイカ割り、
 輪投げやお菓子釣りなどのゲームを楽しみました。



秋祭り

令和二年十月十八日、秋祭りが行なわれました。

皆が待ちに待った秋祭り。今年はどうなイベントがあるのか、どんな食事が食べられるのかワクワクしながら無事当日を迎えることができました。外出自粛の中、楽しい思い出を作ることができ、皆さんとても満足そうでした。

〈職員によるアンパンマンショー〉



〈食事の様子〉



〈カラオケ大会〉



〈宝探し〉

ボールプールの中にお目当てのジュースはあったかな？



〈職員による宝探し〉
どちらが先に容器の中からアメを探せたかな？



還暦祝い会

九月十八日、磯直道さん、瀬戸口敏郎さん、二名のお祝いが盛大に行われました。

今後ますます、お元気にお過ごし下さい。



◎さざなみ桜祭り

四月二十六日に桜祭りが行なわれ、お花見弁当を食堂で美味しくいただきました。



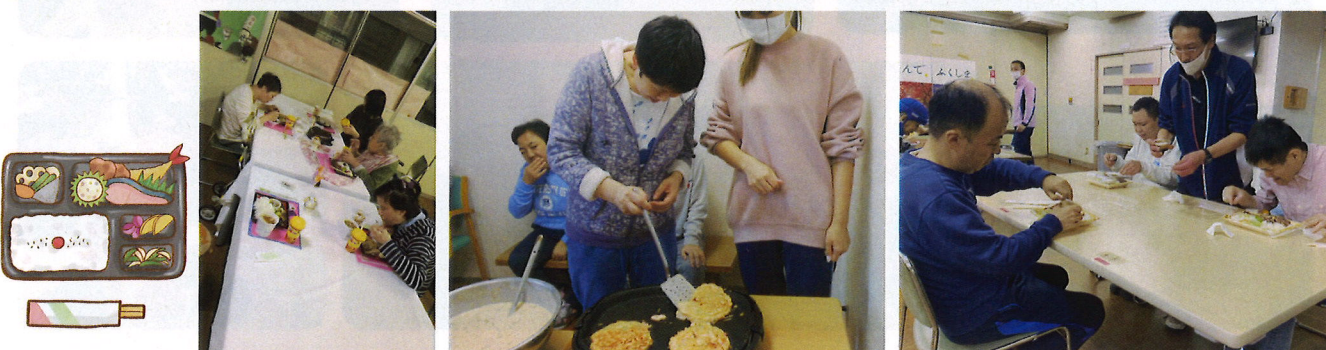
◎さざなみバーベキュー祭り

新型コロナウイルスの影響で、年度開始から行事の見合わせが続いていた中、最初のイベントとして五月二十六日に実施しました。



◎食事会

今年はコロナの影響で外出しての食事や旅行ができない状況です。そのため、少しでも楽しんでいただこうとテイクアウトでの食事会を実施しております。みなさん普段の食事とは違うので楽しそうに参加されています。



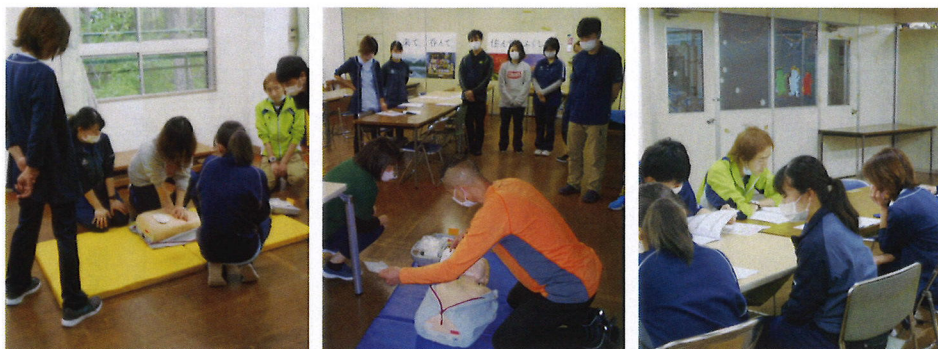
～普段の様子～



救急救命法講習会

五月十八日に開催しました。講義に続いて、心肺蘇生法とAEDの取り扱いについての実技を行いました。

日ごろから訓練をしておくことで、もしもの場合に備えられるようにしたいと思います。



防災訓練

十一月二十二日、消防署立会の下、防災訓練が実施されました。

今回は、夜間、風呂場から火災が発生したという設定で行いました。

皆、真剣な態度で訓練に臨んでいました。

災害はいつどのような形でやって来るのかわかりません。災害への心の備えを常日頃から持って、支援を行う大切さを再認識しました。

白河消防署西郷分署の皆様ありがとうございました。



カラオケ機追加導入

USEN導入一台追加

今年度、カラオケ機とUSENを導入しました。普段の生活で余暇として活用しております。みなさん音楽を聞いたり好きな歌を歌って楽しんでおります。



食堂に温冷配膳車が入りました

栄養士 天倉 典子

かねてから設置をお願いしてききました温冷配膳車が、七月九日に納品され、十日の昼食より温かいものは温かく、冷たいものは冷たいままの提供が可能になりました。温度設定ができるのと、扉つきなので衛生的で、食中毒予防も期待できます。これから大いに活用させていただきます。



医務室より

今年度は、新型コロナウイルスの流行に伴い、当施設でも感染予防対策を行っております。その対策の一つとしてインフルエンザの予防接種を二回行う取り組みをしています。第一回目は、十月二十八日に実施し、第二回目は十一月二十五日に実施しました。

職員全体で、毎日の検温測定や一行為ごとの手洗い、物品の消毒を行い、ご利用者の皆様の健康が維持できるように心がけています。

ご利用者の皆様にも、毎日の検温測定や病院に受診する際のマスク着用等を行い、ご利用者様が安心、安全な生活を送れるように支援していきます。

インフルエンザの予防接種を行うことによって、発症する可能性や合併症の重症化を減らせる効果があります。また、予防接種以外にも、栄養バランスのとれた食事や質の良い睡眠がとれ、免疫力が低下しないように注意しています。

引き続き、ご利用者の皆様の健康維持、向上が図れるように多職種で連携して支援していきます。

新利用者の紹介

斉藤 優美さん

令和二年二月一日に入所されました。

歌が好きで、職員と一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりするなど、毎日元気に過ごされています。

高橋 光夫さん

令和二年十月一日に入所されました。

いつも笑顔で、女性利用者から人気があります。食事を始める前に「いただきます」と礼儀正しく挨拶をしてから食べる様子に感心しています。

退職者紹介

吉田 強子さん

笑顔が印象的な吉田さん、手先が器用で、折り紙の奥深さを教えて下さりました。余暇活動の時間も、利用者の方たちを楽しませるためにいろいろと工夫をされていました。

星 礼子さん

いつも笑顔で、利用者の皆さんから好かれていました。お体を大切に、これからも頑張ってください。

○お二人ともお疲れ様でした。たまに遊びに来てください。

コロナ禍の施設の状況

■オンライン面会

保護者の皆様には直接面会の自粛にご協力いただき、ありがとうございます。

当面の対応策として、Zoomの中のビデオ会議のシステムを使つてのオンライン面会を行っています。

パソコンやスマートフォンなどが必要になりますが、かんたんな操作で使うことができます。

お気軽にお問い合わせいただければと思います。

■利用者様の活動など

日中活動など、基本的には通常どおり行っています。ドライブでは、出先で降車はしませんが、週に数回、交替で実施しています。カラオケなどの屋内活動も週に数回行っています。その中で、不特定の方と接触してしまう買い物は自粛してもらっています。代わりに、一人ひとりの希望を聞いて職員がお店に買いに行く方法をとっています。安全を優先しながら、より多くの気分転換の機会をつくれるように、今後も支援していきます。

第三者委員会報告

九月二十六日、第三者委員会が開催されました。

今回の相談者は九名で、内容は次の通りです。

・他の利用者様への苦情

3件

・健康についての不安

3件

・コロナに対しての不満

1件

・不満はない

2件

以上の報告を受けました。

職員一同、利用者様の悩みに寄り添い、問題解決に取り組んで参ります。



感謝録

皆様より、温かいご協力をたくさんいただきました。厚く御礼申し上げます。

♥一般寄付

石井 鎮子様
園田ヨリ子様
関谷農園様

♥さざなみ桜祭り寄付

♥さざなみ秋祭り寄付

♥学園祭寄付

♥クリスマス会寄付

さざなみ学園保護者会様
これからもご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。
(順不同とさせていただきます)



編集後記

広報紙、発行一ヶ月前に委員会を開き、あれやこれやとピックアップ作業に、てんてこ舞い。

「コロナ禍」の一年で構成に四苦八苦でした。

次号は、面白い記事満載にしたいですね。

「新しい生活様式」「ソーシャルディスタンス」聞き慣れない辞遣いも、今では常識に。収束を祈るばかりです。

年の瀬、恒例の「今年の漢字」やはり、コロナ関連の一字が有力とか。

みなさん、予想を (容)

